

大阪文化祭賞 受賞者決定

笑福亭松喬さんら8公演に賞を贈呈

大阪府内で1年間に開催された全公演の中から、とくに優れた成果をあげた人や団体を顕彰する大阪文化祭賞(主催:大阪府、大阪市、関西・大阪21世紀協会)。昭和38(1963)年の創設以来54回目を迎えた今年度は、第1部門(伝統芸能・邦舞・邦楽)、第2部門(現代演劇、大衆芸能)、第3部門(洋舞、洋楽)の各部門ごとに、大阪文化祭賞と同奨励賞が贈られた。

第1部門の大阪文化祭賞は、関西を本拠に活動する山本哲也さん(大鼓方大倉流)と成田達志さん(小鼓方幸流)が2003年に結成したTTR能プロジェクト、第2部門は2017年10月に七代目松喬を襲名した落語家の笑福亭松喬さん、第3部門は首席指揮者の井上道義さんが指揮する大阪フィルハーモニー交響楽団に贈られた。関西の著名な芸術家や文化人、ジャーナリストが公演を観て審査にあたり、最終審査に残った68公演の中から企画・内容・技術などが総合的に優れた8公演が選ばれた。

今年3月12日には、リーガロイヤルNCB(大阪市北区)において各賞の贈呈式が行われた。TTR能プロジェクトの山本さんは、「我々の世代と共に育っていただけるお客様を作りたくて、15年前にこのプロジェクトを立ち上げた。試行錯誤の連続だったが、立派な賞をいただいて努力が報われた思い。今後は受賞に恥じない舞台を作っていきたい」と挨拶。笑福亭松喬さんは「中学1年のときにラジオで『初天神』を聴いて落語家になりたいと思った。(七代目を襲名して)落語家としての新しい人生は、多くの人に落語の楽しさを知ってもらえるよう頑張っていきたい」と喜んだ。さらに受賞記念トークで松喬さんは、大学で落語研究会を創部した先輩の話を紹介。「メンバーが足りなかったんで、コーラス部を作ろうとしていた友人に頼み

込んで幽霊部員になってもらったところ、そのコーラス部が潰れて、友人が落研に残った。それが現在の桂文珍さんで、中学や高校で口演をするときは、「誘われたらやってみよう、と言っている」と笑いを誘った。

関西・大阪21世紀協会は、大阪文化祭賞を芸術・文化分野における人材の発掘や育成、交流事業の一環として重視し、受賞者の記念公演を主催するなどアピールに努めている。また、受賞者の一層の励みとなるよう、副賞賞金(大阪文化祭賞20万円、同奨励賞5万円)や記念盾を当協会より提供している。審査経緯を報告した堀井良股理事長は、「受賞された皆様は、時代を真正面から受け止め、それに向き合いながら芸術の力で高い表現をされた点が審査委員の方々の注目を集めたと思う。大阪文化祭賞は半世紀以上の歴史があり、錚々たる歴代受賞者から、大阪には優れた文化人・芸能人を生み出す土壌があると強く感じる。今回受賞された皆様は、また一つ新しい歴史を刻まれた」と受賞者を讃えた。



受賞記念トークで会場を和ませる笑福亭松喬さん



山本哲也さん(左)と成田達志さん(右)



笑福亭松喬さん



福山修さん(井上道義さん代理:大阪フィルハーモニー交響楽団事務局次長)

平成29(2017)年度各部門の受賞者

()内は受賞成果

第1部門(伝統芸能・邦舞・邦楽)

- ▶大阪文化祭賞
TTR能プロジェクト
(TTR能プロジェクト15周年特別公演「定家」)
- ▶大阪文化祭 奨励賞
豊竹芳穂太夫
(文楽若手会公演『菅原伝授手習鑑』の「寺子屋の段」など)

第2部門(現代演劇、大衆芸能)

- ▶大阪文化祭賞
七代目笑福亭松喬
(三喬改メ 七代目笑福亭松喬襲名披露公演)
- ▶大阪文化祭 奨励賞
iaku
(「肅々と運針」「ハイツブリが飛ぶのを」)
玉造小劇店
(本格的な小型時代劇・わ芝居〜その巻『カラサワギ』)

第3部門(洋舞、洋楽)

- ▶大阪文化祭賞
井上道義指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団
(大阪フィルハーモニー交響楽団 第505回定期演奏会における演奏及びバーンスタイン『ミサ』)
- ▶大阪文化祭 奨励賞
周防亮介
(東京オペラシティ リサイタルシリーズB→C(ビートゥーシーノ/パッハからコテンポラリーへ) 周防亮介ヴァイオリンリサイタル)
野間 景
(野間バレエ団第25回定期公演『ドン・キホーテ』改訂振付)
(敬称略)



受賞者(前列)と主催者および各部門の審査委員長(後列)